

水源地を見に行き隊

名古屋市指定水道工事店協同組合青年部会

- 担当役員 中島誠照
- 実施日 平成17年8月21日(日)
- 参加者 39名【大人28名(親組合理事9人含) 子供11名】

当初、私ども名水協青年部会では、全管連青年部協議会が主催する環境問題研究事業への参加がきっかけで、名古屋市周辺の浄水場取水口周辺部にて清掃活動をしていました。そのような中、折角なら川をさかのぼり、水源地の実情を知ろうと5年前に「水源地を見に行き隊」を結成し、水源地を訪問、ダム湖の清掃活動を実施しました。それ以来、継続事業となったこの訪問活動は今年で5回目を迎えました。

我々青年部単独の企画にて実施した活動が新聞報道されたのをきっかけに、2年目からは名古屋市上下水道局の上下流交流活動の一環として開催される活動に同行し、親組合からの協力をえながら、活動を続けてまいりました。5年目を迎えた今年、地元愛知県で愛知万博が開催され、上下水道局の水源地訪問活動が他のイベントに差し替えられた事もあり、初回と同じく青年部会単独の事業として企



植樹活動・水源地探検終了後、ダム湖にて

画し、親組合の理事の皆様も含めたメンバーにて訪問しました。

あいにくの曇り空で迎えた8月21日、私ども、名水協青年部会有志の「水源地を見に行き隊」を乗せたバスが、長野県木祖村に向けて出発しました。

継続して開催していく中で、木祖村の村長様や助役様と親しくなり、植樹をしたいという希望を申し上げたところ、こだまの森(公園内)に用地を提供していただき、参加者皆でスコップ片手にどんぐりの苗を植えました。参加した大人達から子供達に、この地域に降った雨が、我々の地元名古屋で使う水となる事、そして、森を育て守る事の大切さや、普段、森を守ってくださっている木祖村の方々への感謝など、伝えながらの植樹となりました。公園内への植樹でしたので、次回訪問した際に、育てている木を見るのが楽しみです。また、この活動がきっかけとなり、子供達にとって「水」を考える機会や、水源地に親しみをもつきっかけとなればと考えております。

植樹活動が終わり、公園内で食事を済ませた後、源流のある水木沢天然林へバスにて移動しました。木曾川の水が生まれるこの天然林は、日本でも珍しい針葉樹と広葉樹が混生している原生林です。ガイドさんの案内で遊歩道を一時間弱散策し、原生林の様子を観察しました。右に掲載のサンショウウオの写真は、散策の途中の沢で見つけたものです。遊歩道が完備されているものの険しい道中でしたが、子供達に川原遊びも含め、水源地のありのままの姿を十分に伝える事ができたと思います。



こだまの森にて植樹活動中



水木沢天然林散策中



散策中の川遊びで見つけたサンショウウオ